



こんにちは 府会議員

# さこ祐仁

活動報告

2007年12月9日発行 No.51  
連絡先：千本出水下がる  
十四軒町392 さこ祐仁事務所  
Tel813-2117

来る京都市長選挙・総選挙での勝利で、アメリカと財界・大企業いなり  
の「二大政党づくり」に審判くだし、国民の声が政治を動かす新しい流れをつくりましよう！

## 日米軍事利権問題から見える、「二大政党づくり」の正体

山田洋行専務や守屋前事務次官の逮捕で、日米軍事利権の構造が次々に明らかになっていきます。ことは防衛費という「聖域」に日米軍需大企業、軍事・防衛族の政治家が群がるみにくい一大疑惑に発展しています。しかし、自民党のアメリカいなり政治を正す立場で追及しているのは日本共産党だけです。民主党は、軍需商社の接待に政治家が同席した問題は追及しても、日本とアメリカの軍需大企業と政治家が関わった問題として追及はしません。実は、軍事利権の舞台と言われている「安全保障議員協議会」には自民党と並んで、民主党の議員も参加しているのです。自民・公明党の与党に

も、民主党にも、どちらにも根っこにはアメリカいなり政治があります。来る総選挙では、日本共産党の議席を伸ばすことが、日米軍事利権を大本から解決する何よりの力になることを実感し、次の選挙では何としても勝たなければと身の引き締まる思いがしています。

## 平和の熱い思い、上京区から発信を

12月1日(土)「上京憲法平和まつり」が上京区の能力開発センターで開催されました。ミニ戦争展、映画会、戦争体験を語る会が行われ、約150名の方が参加されました。1940年の七・七禁令によって西陣の織機を供出させられた業者の体験、シベリアで抑留され苦労された

方、出水学区に7個の爆弾が落とされ死者や負傷者が出ている状況を見ていたかたの体験が語られました。私は、京都に来るまでは京都には爆弾は落とされていないと教わっていましたから、「真実を知らせる」ということは大事なことだと思いました。

また、「集団自決」への日本軍強制の教科書削除に抗議する沖繩県民集会に参加された教師のかたは、「歴史の真実をしっかりと伝えることが大事だ」と話され、さらに沖繩では日本軍がいた島だけが集団自決していることも報告されました。アフガンでの報復戦争ではテロはなくならないこと、イラク戦争の泥沼化とあわせて、いかに軍隊が野蛮かということも痛感しました。



写真(右) 上京憲法平和まつりの一コマ。

## ◎さこ駆け歩き

12月3日(月)

日本共産党府会議員団(十一名 新井進団長)と成宮まり子京都国政委員長は、山田啓二京都府知事に対して、「原油価格高騰に関わる対応策についての緊急申し入れ」を行ないました。

原油価格の高騰で、ガソリン、灯油、ナフサ、重油などが異常に高騰し、市民生活や中小零細企業、伝統産業など関係業界に重大な影響を与えています。これから需要が急増する灯油は、すでに1缶(18㍓)1800円を超える値段に急騰。ガソリン代も今月からさらに㍓あたり6円の値上げで史上最高値を更新し続けています。

さらに関連した原材料費や経費の増大による食料品や生活必需品の大幅値上げも相次ぎ、生活困窮者や社会的弱者を直撃しており「これでは冬が越せない」の声があがっています。

中小零細業者は原油価格の高騰に伴い、親企業に原材料や燃料費の高騰分の引き上げ工賃改定を要請しても、価格転嫁もままならず、しかも従業員の仕事確保のために無理をして赤字覚悟で仕事をせざるを得ない業者も現れています。このままでは、京都の地域経済や雇用に及ぼす影響も大きく早急な対応が求められています。

京都府からは麻生純副知事が対応し「大変な事態と認識している」と述べました。

私さこ祐仁は、日本共産党府会議員団の「原油高騰問題対策チーム」の事務局長として連日業者団体を訪問し、現状や要望を聞いて回っています。

12月12日(水)午後6時30分よりハートピア京都4階第5会議室で、原油価格高騰問題に関する緊急懇談会を日本共産党府会議員団、市会議員団、京都国政事務所合同で開催いたします。緊急ですが、ぜひとも参加お願いいたします。



## 日本共産党

## こくた恵二国会報告会

12/16(日) 13:30

西陣織会館6階(堀川今出川下る)

→こくた恵二・国会対策委員長が激動する国会情勢を報告します。ぜひみなさんでご参加ください！